

2015年3月期 9月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

問い合わせ先:IR・広報部長 椎野 泰成(TEL 03-6219-8718)

土日祝日数	前年比(日)	±0	±0	+1	-1	±0	+1	-1	±0	+2	-1	+1	±0	-2	±0	±0	±0	+1	-1	±0	±0
国内売上高(全業態)		13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
全店	額(百万円)	20,222	19,428	18,582	18,612	22,695	21,081	19,443							119,846	56,626	63,220			119,846	
	前年比(%)	-3.5	-15.7	-8.4	-8.7	-1.5	-5.2	-3.9							-7.2	-11.1	-3.5			-7.2	
既存店	前年比(%)	-5.7	-17.1	-9.9	-10.2	-2.7	-6.5	-5.1							-8.6	-12.6	-4.7			-8.6	
国内客数(全業態)		13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
全店	人数(千人)	2,855	3,198	3,096	2,895	3,129	3,277	2,761							18,356	9,189	9,167			18,356	
	前年比(%)	-4.4	-6.7	-4.2	-4.1	-6.8	-4.4	-3.4							-5.0	-5.0	-4.9			-5.0	
既存店	前年比(%)	-6.9	-8.6	-6.1	-6.0	-8.2	-6.0	-5.0							-6.7	-6.9	-6.4			-6.7	
客単価(全業態)		13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
既存店	前年比(%)	1.2	-9.4	-4.1	-4.4	6.0	-0.6	-0.2							-2.1	-6.1	1.8			-2.1	

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品(車検含む)	-8.8	-16.9	-10.2	-12.0	-4.9	-8.0	-7.1							-9.9	-13.2	-6.6			-9.9	
サービス	-1.1	-11.3	-3.5	-7.2	-3.0	-3.5	-3.5							-5.4	-7.5	-3.3			-5.4	
車検・整備	1.2	-19.6	-1.1	-4.4	-3.1	-0.1	-0.3							-4.5	-8.0	-1.2			-4.5	
タイヤ	-4.4	-25.2	-15.0	-15.4	-0.5	-4.2	-4.8							-11.3	-19.2	-3.1			-11.3	
ホイール	-8.9	-19.5	-15.4	-17.1	-8.8	-6.9	-6.1							-13.1	-17.7	-7.3			-13.1	
カーエレクトロニクス	-21.0	-23.8	-19.4	-18.9	-2.4	-16.6	-11.2							-15.0	-20.8	-9.6			-15.0	
オイル	-5.0	-9.6	-3.9	-3.7	-4.2	-5.0	-2.3							-4.8	-5.8	-3.9			-4.8	
バッテリー	-5.3	-16.5	-8.7	-10.5	-11.6	-16.8	-16.6							-13.9	-12.0	-15.2			-13.9	
メンテナンス	-8.6	-13.1	-8.3	-8.6	-4.0	1.2	-6.8							-6.7	-10.1	-3.0			-6.7	
アクセサリ	-10.8	-10.6	-9.3	-10.5	-13.2	-10.5	-11.0							-10.9	-10.2	-11.6			-10.9	
カーリペア	1.5	-7.2	-1.3	-6.6	-5.9	-4.6	0.2							-4.3	-4.9	-3.6			-4.3	
カーズパーツ	-12.2	-16.6	-10.6	-14.0	-9.4	-9.4	-9.8							-11.7	-13.8	-9.5			-11.7	
カーレジャー	-31.8	-21.5	-6.4	-8.2	-19.1	-18.5	-4.1							-13.9	-12.1	-15.4			-13.9	
モーターサイクル	1.1	-23.9	-16.2	-24.2	-10.5	2.9	-11.9							-14.7	-21.6	-7.0			-14.7	
新車・中古車	30.1	-21.3	-7.5	9.7	26.6	10.8	11.9							6.1	-5.9	16.0			6.1	
中古カー用品	-23.6	-21.8	-21.7	-24.5	-22.1	-16.2	-12.9							-20.2	-22.6	-17.2			-20.2	
燃料	9.8	-11.1	3.9	5.9	5.1	1.1	-3.0							0.3	-0.6	1.1			0.3	

国内業態別店舗売上高 前年比(主要2業態、既存店)	前年比(%)	13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
オートバックス	-8.2	-17.1	-10.6	-12.4	-5.0	-8.1	-7.4								-10.2	-13.6	-6.8			-10.2	
スーパーオートバックス	-10.3	-16.6	-9.3	-11.0	-4.7	-7.6	-6.3								-9.3	-12.5	-6.1			-9.3	

海外店舗売上高 前年比(全店)(%)	前年比(%)	13年9月	14年4月	14年5月	14年6月	14年7月	14年8月	14年9月	14年10月	14年11月	14年12月	15年1月	15年2月	15年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
	-9.1	-4.2	-2.0	-6.7	-3.8	-1.8	-7.3								-4.2	-4.4	-4.1			-4.2	

店舗数	オートバックス	+1	+1	+1	+2	+2									485	+2	+5			+7		
	スーパーオートバックス														75							
	オートバックス セコハン市場														10							
	オートバックス エクスプレス														8							

2014年9月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲5.1%、全店ベースで▲3.9%

売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減、②消費税率引き上げ後の新車販売の減少に伴いナビゲーションなどの売上が減少。③車検・整備は台数で前年実績を上回り復調の兆し。④車販売は当社グループとしては加盟店の増加を背景に小売・業販ともに売上伸長し好調を維持。

【商品別】タイヤ・ホイール: 広告宣伝や販売促進を強化したことにより、数量はほぼ前年並みの実績を維持したが、単価は下落。ホイールは軽自動車サイズを中心に販売好調で、金額では前年実績を下回ったものの、数量は前年実績を上回る。

カーエレクトロニクス: 据え置き型ナビゲーションの販売単価は前年実績を上回ったが、カーエレクトロニクス全体では数量・金額ともに前年割れ。なお、好調が続いているドライブレコーダーや後部座席用車載モニターは、いずれも前年比二桁以上の大幅伸長。

オイル: 販売強化中のオイル添加剤が好調を維持。**メンテナンス:** 天候の影響で前月好調だったワイパーの売上が減少。**アクセサリ:** 新車販売の不調に伴って全体では前年割れ。エアコン取付タイプの消臭剤などは好調。

カーリペア: 好天が続いたこともあり洗車用品が好調で、カーリペア全体の売上が牽引。前年実績を上回った。

サービス: ナビゲーションなどの取付工賃は減少したが、板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービス工賃は好調を維持。車検・整備は、金額は若干の前年割れだったが、台数は前月に引き続き前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+4.0%、金額前年比+0.2%。

車販売: 小売においては、新車販売は前年実績を下回ったものの、中古車販売は好調を維持。また、業販は買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことにより売上伸長。全店ベースで台数前年比+17.8%、金額前年比+13.6%。

出店、退店状況 9月度 国内: 新店2、退店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、海外: 新店0、退店0
9月末 国内店舗数: 578店舗(オートバックス485、スーパーオートバックス 75、オートバックスセコハン市場 10、オートバックスエクスプレス 8)

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。
・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。
・「全業態」は、スーパーオートバックス、オートバックス、オートバックスカーズ、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレスです。
・「カー用品」には、セコハン市場やオートバックスエクスプレスで一部販売している新品のカー用品も含まれています。

<p>2014年4月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲17.1%、全店ベースで▲15.7%</p> <p>売上増減要素:①3月の消費増税前の駆け込み需要の反動が、タイヤ・ホイールをはじめ主要商品群の売上に影響し、②加えて新車販売台数の減少により、ナビゲーションなどの商品の売上が低下。③車販売や車検・整備も消費増税の影響により売上減少。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは一部の降雪エリアで冬タイヤから夏タイヤへの履き替えも進んだが、消費増税前の駆け込み需要の反動の影響が著しく、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは大口径サイズなど高額商品の落ち込みが顕著。</p> <p>カーエレクトロニクス:消費増税による新車販売台数減の影響もあり、ナビゲーションの売上が減少し、単価も据え置き型、ポータブルとも低下。ドライブレコーダーは好調を維持し、金額で前年比二桁以上伸長。</p> <p>オイル:数量・金額ともに前年割れとなるが、売場での取り組みを強化したオイル添加剤は好調。バッテリー:3月に大きく伸長した反動もあり、数量・金額とも前年実績を下回った。メンテナンス:全国的に降水量が平年を下回った影響などもあり、ワイパーの売上が減少。</p> <p>アクセサリー:他の商品群と比べ増税の影響が少なかったが、レーダー探知機は大きく前年割れ。カーリペア:消費増税の影響は少なかったが、好調が続いていた手軽なタイプのコート剤などが前年実績を下回り、PB清掃用品は数量ベースで前年実績を上回った。</p> <p>サービス:タイヤ・ホイール、ナビゲーションなどの販売数量減に伴い、取付工賃は減少。車検・整備は、消費増税により4月車検満了予定の車両が、3月に多数前倒して入庫したことが大きく影響し、台数・金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲24.7%、金額前年比▲18.9%。</p> <p>車販売:店舗での査定件数は増加したものの、消費増税の影響が大きく、買取りによる業販、小売ともに前年実績を下回る。全店ベースで台数前年比▲18.7%、金額前年比▲20.0%</p>

<p>2014年5月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲9.8%、全店ベースで▲8.4%</p> <p>売上増減要素:①前月より影響が小さくなっているが、消費増税前の駆け込み需要の反動により、タイヤ・ホイール、カーナビなどの売上が減少し、②車検・整備はほぼ前年並み、③車販売は消費増税の影響もあり売上減少。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは消費増税前の駆け込み需要の反動と、履き替え需要の前倒しの影響もあり、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは、軽自動車用サイズは売上の落ち込みが少ないが、大口径サイズなど高額商品が不振。</p> <p>カーエレクトロニクス:ナビゲーションは、単価下落およびPNDの販売台数の不振などにより売上が減少。しかし、各メーカーより新商品の投入もあり、据え置き型ナビゲーションは台数ベースで若干復調の兆し。一方、ドライブレコーダーは好調を維持し、数量・金額とも前年比二桁以上の伸長。</p> <p>オイル:数量・金額ともに前年割れとなるが、売場での訴求を強化したオイル添加剤は前月に引き続き好調。メンテナンス:一般的に降水量が少ないことが影響しワイパーが不調。アクセサリー:全体では前年割れとなるが、5月後半の好天と気温の上昇とともに日除け商品の需要が回復。</p> <p>サービス:ナビゲーション、タイヤ・ホイールなどの販売数量減に伴い、取付工賃が減少したが、ボディアンダーコーティングなどのサービスメニューは好調。車検・整備は台数、金額ともに前年並み。全店ベースで台数前年比+0.2%、金額前年比▲0.3%。</p> <p>車販売:全体の売上は減少したが、店舗での買取り査定件数が大幅に増加したことにより業販は前年並み。小売は消費増税の影響で中古車販売が不調、新車は納車遅れの車両などもあり前年比プラス。全店ベースで台数前年比▲7.5%、金額前年比▲5.6%</p>
--

<p>2014年6月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲10.2%、全店ベースで▲8.7%</p> <p>売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減、②前月に引き続き消費増税前の駆け込み需要の反動により、タイヤ・ホイール、ナビゲーションなどの売上が減少し、③駆け込み需要と関係性の低いドライブレコーダー等一部の商品は堅調。④車販売は反動減が一段落し、小売・業販ともに前年比プラス。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは消費増税前の駆け込み需要の反動により、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは、軽自動車用ホイールは売上の落ち込みが少なく、大口径サイズなど高単価商品が不振。</p> <p>カーエレクトロニクス:ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れとなる。しかしながら6月後半より販売施策を強化したことで、据え置き型ナビゲーションは売上復調の兆し。また、ドライブレコーダーは数量・金額とも前年比二桁以上の伸長を維持。</p> <p>オイル:売場での訴求を強化したオイル添加剤は、前月に引き続き好調に推移。メンテナンス:全体では低調も、エアコンフィルターが好調。アクセサリー:前年割れであるが、季節商品である日除け類が好調に推移。</p> <p>カーリペア:カーリペア全体では前年割れであったが、手軽なタイプのコート剤、PB清掃用品、ガラス撥水剤などが好調に推移。</p> <p>サービス:ナビゲーション、タイヤ・ホイールなどの取付工賃が減少したが、ボディアンダーコーティングやガラス撥水、燃料ライン洗浄などのピットサービスメニューが好調。車検・整備は台数、金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲3.8%、金額前年比▲3.8%。</p> <p>車販売:店舗での買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことにより業販が好調に推移。また小売においても、新車販売、中古車販売ともに前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+6.0%、金額前年比+11.5%</p>

<p>2014年7月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲2.7%、全店ベースで▲1.5%</p> <p>売上増減要素:①消費増税前の駆け込み需要の反動が弱まったことにより売上高の前年比マイナスが縮小し、②加えて広告宣伝や販売促進を強化したことによりタイヤやナビゲーションの売上が回復。③車販売は小売・業販ともに好調で売上伸長。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは広告宣伝や販売促進の強化により、数量ベースで前年実績を上回る。ただし単価ダウンの傾向が続いており、金額では若干の前年割れ。ホイールは低価格帯商品の販売は好調だが、ドレスアップ系商品など高単価商品が不振。</p> <p>カーエレクトロニクス:販売促進施策の強化により、据え置き型ナビゲーションが数量・金額とも前年実績をクリアし、単価も前年実績を上回る。ナビの販売好調に伴い後部座席用車載モニターも好調。好調のドライブレコーダーは数量・金額とも前年比二桁以上の伸長が継続。</p> <p>オイル:数量・金額ともに前年割れ。エンジン内部洗浄剤は好調だったが販売強化中のオイル添加剤については売上が鈍化。メンテナンス:天候の影響もありワイパーが好調に推移。アクセサリー:レーダー探知機や車内用品などの売上減少が影響し前年割れ。</p> <p>カーリペア:ガラスコート剤などが好調だったが、補修ケミカルを中心に売上が落ち込み、カーリペア全体では前年割れ。カースポーツ:販売促進を強化した足回り関連商品が好調。</p> <p>サービス:タイヤなどの取付工賃が若干回復。また、取り組みを強化しているボディアンダーコーティングや燃料ライン洗浄などのサービス工賃が好調を維持。一方で車検・整備は台数、金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲1.5%、金額前年比▲2.8%。</p> <p>車販売:店舗での買取り査定件数と成約台数が大幅に増加し業販が伸長。小売では、特に新車販売台数が前年実績を大きく上回り、中古車販売も前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+22.9%、金額前年比+29.9%</p>

<p>2014年8月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲6.5%、全店ベースで▲5.2%</p> <p>売上増減要素:①西日本を中心とした台風や集中豪雨などの天候要因が集客に影響。②広告宣伝や販売促進を強化したことによりタイヤの売上が数量ベースで前年実績を上回る。③全国的な新車販売台数の落ち込みを背景にナビゲーションやアクセサリーの売上が減少。④車販売は小売・業販ともに好調で売上伸長。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは単価ダウンの傾向が続いているが、広告宣伝や販売促進の強化により、数量ベースで前年実績を上回る。また、北日本エリアではスタッドレスタイヤの早期販売も好調。ホイールは軽自動車サイズを中心に低価格帯商品は好調だが、ドレスアップ系商品など高価格帯が不振。</p> <p>カーエレクトロニクス:ナビゲーションは広告宣伝をタイヤに集中したことにより数量、金額ともに前年を下回り、販売単価も下落。一方、ドライブレコーダーや後部座席用車載モニターは好調で、いずれも数量、金額とも前年比二桁以上の大幅伸長が継続。</p> <p>オイル:数量、金額ともに前年割れだったが、販売強化中のオイル添加剤は売上好調。メンテナンス:天候の影響もありワイパーの売上が大幅伸長。メンテナンス全体の売上が牽引し前年実績を上回った。アクセサリー:車内用品は不振だったが、シートカバー、フロアマット、ボディカバーなどが好調。</p> <p>カーリペア:補修用品、清掃用品などは不振だったが、天候の影響もありガラスコート剤などが好調。</p> <p>サービス:ナビゲーションなどの取付工賃は減少したが、コーティングなどの物販を伴わないサービス工賃は好調を維持。板金・塗装も好調。車検・整備は、台数は前年実績を上回ったが、金額は若干の前年割れ。ただし全店ベースでは台数前年比+1.3%、金額前年比+0.4%。</p> <p>車販売:店舗での買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことで業販が伸長。小売は新車、中古車とも堅調に推移。全店ベースで台数前年比+17.4%、金額前年比+12.7%</p>
